

「新生児期の疾患とケアに関する研究」
平成8年度全体班会議議事録

日時：平成9年2月26日（水）9：30～16：00

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
〒102東京都千代田区九段北4-2-25
Tel 03-261-9921（代）FAX 03-3261-7760
JR線・地下鉄線（有楽町線・新宿線）市ヶ谷駅前

出席者：厚生省母子保健課 前田 光哉
主任研究者 小川雄之亮
分担研究者 小川雄之亮
大西 鐘壽
戸 蒔 創
藤村 正哲

研究協力者：

小川班：竹内久弥、仁志田博司、高田昌亮、栗谷典量、板橋家頭夫、山内芳忠、
上谷良行、井村総一、磯部健一

大西班：伊藤進、宇賀直樹、鬼頭秀行、志村浩二、西村豊、東明正、二村真秀、

戸蒔班：高嶋幸男、船戸正久、吉岡博、田角勝、茨聡

藤村班：奥起久子、田村正徳、清水浩、西田朗

共同研究者：嶋田優美、河田興、新島新一、岩瀬一弘、白井真美、白倉幸宏、五十嵐健康、
藤波桂、川本豊、箕面崙至宏、伊藤裕司、岩村透、寺沢俊一、中川恒夫

議事：（1）開会挨拶 主任研究者 小川雄之亮
厚生省 前田光哉
（2）小川班分担研究報告 小川雄之亮、栗谷典量、山内芳忠、板橋家頭夫、
磯部健一
（3）大西班分担研究報告 大西鐘壽、西村豊、鬼頭秀行、伊藤進、
（4）藤村班分担研究報告 藤村正哲
（5）戸蒔班分担研究報告 戸蒔 創、高嶋幸男、船戸正久、吉岡博、
田角勝、茨聡、
（6）総会討論
（7）事務連絡
（8）閉会

分担研究「胎児・新生児の発育に関する研究」

第1回分担班会議

日時：平成8年9月2日（月）

場所：お茶の水 ホテル ガーデンパレス

出席者：分担研究者 小川雄之亮 戸苅 創
研究協力者 栗谷 典量 竹内 久弥 井村 総一 高田 昌亮
上谷 良行 板橋家頭夫 磯部 健一 仁志田博司

- 議 事：
1. 昨年度の評価
 2. 本年度の研究計画
 - 1) 在胎別体格基準値
 - ・ 10施設の残りのデータ収集
 - ・ 他の11施設のデータ収集依頼
 - 2) 極低出生体重児の発育曲線
 - ・ 10歳以上のデータ
 - ・ 総合的評価
 - ・ 二次性徴
 - 3) 栄養別発育曲線
 - ・ 国立岡山以外の施設でのデータ
 - ・ 神戸の3施設
 - 4) 成熟度の評価
 - ・ 身体所見のみでやってみる
 - とくに light-for-dates
 - small-for-dates について行う

第2回分担班会議

日時：平成9年2月3日(月) 12:00~17:00
場所：アルカディア市ヶ谷 伊吹東の間

出席者：分担研究者 小川雄之亮
研究協力者 栗谷 典量 竹内 久弥 井村 総一 高田 昌亮
板橋家頭夫 磯部 健一 仁志田博司 山内 芳忠
共同研究者 桃田 哲也 島田 信敬 竹内 敏雄 岩村 透

議 事：

1. 平成8年度研究報告

各自研究報告を行い、来年度の研究方向について協議した。

1) 在胎別出生時体格基準値

超音波で在胎週の確認出来た例のみを対象とすることに決定。

入力終了し現在パーセントイル値計算中。2月26日の班総会に報告予定。

SD値は来年度とする。

2) 体格基準値関連各個研究

Disproportionについてと出生時体水分量測定について報告あり。

3) 母乳栄養児の発育基準値

国立岡山病院の男女各100例計200例の完全母乳栄養児の継断的研究の測定値を一応の基準値とすることに決定。

現在集収中の他施設での follow 例のデータを来年度更に集積して比較検討することにした。

4) 極低出生体重児の思春期の発育

今年度の調査で思春期発来が遅れが認められるので、来年度は全国調査を行う。

5) 成熟度測定

因子分析による計算式が完成。来年度は簡易法との比較で検定を行うとともに、出生前ステロイド投与例の集積を行うこととした。

2. 事務連絡

1) 班総会での発表は、栗谷、山内、板橋、磯部が代表して行うこととした。

2) 研究補助金の適正な施行について、再度確認された。

3) 研究報告書、会計報告書の提出について事務局から説明と依頼があった。

分担研究「ハイリスク新生児の管理に関する研究」

第1回分担班会議

日時：平成8年10月14日(月)13:00~15:00

場所：香川医科大学 基礎臨床研究棟2階 カンファレンスルーム

出席者： 分担研究者 大西 鐘壽
研究協力者 安次嶺 馨 伊藤 進 宇賀 直樹 鬼頭 秀行
志村 浩二 西村 豊 東 明正 二村 真秀
共同研究者 岩瀬 一弘 以上10名

議題： (1)分担研究者挨拶
(2)各研究協力者の本年度の研究計画
(3)事務連絡

第2回分担班会議

日時：平成9年2月16日(日)12:00~17:00

場所：高松グランドホテル 3F 祥鳳の間

出席者： 分担研究者 大西 鐘壽
研究協力者 安次嶺 馨 伊藤 進 宇賀 直樹 鬼頭 秀行
志村 浩二 西村 豊 東 明正 二村 真秀
共同研究者 臼倉 幸宏 岩瀬 一弘 新島 新一 白井 真美
以上13名

議題： (1)分担研究者挨拶
(2)各研究協力者の本年度の研究報告
(3)討論

分担研究「脳室周囲白質軟化症（PVL）の成因と治療に関する研究」

第1回分担研究班会議議事録

日時：平成8年8月9日（金）午後4—6時

場所：東京八重洲口 ルビーホール

出席者： 分担研究者 戸苺 創
研究協力者 高嶋 幸男 船戸 正久 吉岡 博 田角 勝
茨 聡
共同研究者 橋本 和広 上原 久和 玉井 普 佐藤 弘之
浅野 仁 土井 康生 藤本 伸治 以上13名

議事：

1. 定義と分類案に関する最終案の提示
2. 定量的解析作業についての報告
3. 全国疫学調査用紙の確定
4. 各個研究の報告ならびに質疑応答

付記：定義と分類案について活発な討論があり、改良が加えられた。具体的な内容については、今年度の報告書の中で明確にすることで一致した。定量的解析作業については、各個研究者の施設からMRIの画像を名古屋市立大学へ郵送していただき、NIH Imageを用いて現在進行中なることが報告された。また、全国疫学調査の内容（案）の提示があり、改良が加えられて、実施が決定された。さらに各個研究では、今年度の病態、病因、治療などにせまる研究企画が提示された。

第2回分担研究班会議議事録

日時：平成8年12月6日（金）午後3—6時

場所：名古屋市立大学医学部研究棟会議室

出席者： 分担研究者 戸苺 創
研究協力者 高嶋 幸男 船戸 正久 吉岡 博 田角 勝
茨 聡
共同研究者 橋本 和広 土井 康生 上原 久和 玉井 普
佐藤 弘之 浅野 仁 藤本 伸治 山口 信行
以上14名

議事：

1. 定量的解析作業についての報告
2. 全国疫学調査の結果の報告
3. 各個研究の報告ならびに質疑応答

付記：名古屋市立大学へ郵送していただいた各個研究者の施設からのMRIの画像をNIH Imageを用いて現在進行中なることが報告された。さらに各個研究では、今年度の病態、病因、治療などにせまる研究企画が提示された。

分担研究「新生児の慢性肺疾患の予防と治療に関する研究」班

第1回分担班会議議事録

日時： 熊本市市民会館 第4会議室
場所： 熊本市桜町1番3号

出席者： 分担研究者 藤村 正哲
研究協力者 奥起 久子 田村 正徳 河野 寿夫 清水 浩
西田 朗
共同研究者 馬場 淳 川本 豊

議事：

1. 文献研究について
慢性肺疾患に関する過去3年分の海外文献抄録を分担して検討した結果について各班員から説明し討議した。その結果、当班の課題についていくつかの示唆が得られた。
2. CLD症例調査の実施打ち合わせの件
 - 1) 慢性肺疾患症例調査の登録状況について
進行状況をまとめた
 - 2) 外来調査の準備について
進行状況をまとめた
 - 3) 全国調査の準備について
事務局で準備した内容について検討した
 - 4) パルスオキシメータとノートパソコン(プリンター付)を用いて、各班で試みに使用し次回会議でその結果を検討することとした。
7月以降、班として共同研究を行う予定とした

第2回分担班会議

日時： 平成8年7月9日(火) 午後12時20分～1時30分
場所： 高松国際ホテル 扇の間(本館2F)

出席者： 分担研究者 藤村 正哲
研究協力者 奥起久子 田村 正徳 河野 寿夫 清水 浩
西田 朗
共同研究者 馬場 淳 川本 豊 箕面崎至宏

議事：

1. 「研究課題2. CLDの治療・管理は如何にあるべきか」に関する全体研究の具体的進め方について検討した
2. 入院中および退院後のCLD管理におけるパルスオキシメータの活用方法の開発的研究についてまとめた
 - 1) 目的 パルスオキシメータを用いたCLDの評価方法(臨床経過、重症度、治療効果など)を明らかにすること
CLDの定義 研究班定義通り
対象 出生体重1500g未満全員

除外 心疾患など、CLD以外に低酸素症の原因となる疾患があるもの
先天異常
4週未満の死亡例
事後に解析する際、酸素療法が4週未満で終了した児が対照群となる

- 2) 方法 パルスオキシメータ(ネルコア3000)を用いる
日齢7日以降、1週間に1回測定
安静覚醒時
背臥位
授乳後30分以上経過
Probe は原則として右手に装着
Crying 時は除外
測定記録用紙に必要事項を記入

第3回班会議議事録

日時：平成9年1月29日(水) 正午～午後4時

場所：メルパルク大阪 6階「高砂の間」

出席者：分担研究者 藤村 正哲

研究協力者 奥起 久子 田村 正徳 河野 寿夫 清水 浩

西田 朗

共同研究者 馬場 淳 川本 豊 平野 慎也 伊藤 裕司

箕面崎至宏

議題：

1. 会計・報告書の事務説明
2. 慢性肺疾患全国調査集計の報告と検討
報告書作成のための討論
3. パルスオキシメータを用いた共同研究の個別解析結果について、各研究協力者の実施状況を報告し、全体で解析する方法を協議した。
4. 個別研究の発表
呼吸機能検査よりみた早期呼吸器離脱と Nasal-CPAP の応用 奥 起久子
Partial liquid ventilation の基礎的検討
- 肺洗浄新生豚における呼吸コンプライアンスの変化 田村 正徳
各種加温加湿チャンバーによる口元温度及び湿度の比較検討 田村 正徳
多核白血球と肺胞マクロファージとの相互作用について
- 塩化ガドリウムの影響 西田 朗
Dexamethasone の急性肺障害に対する効果とその機序 河野 寿夫
Surfactant protein-B 欠損症の遺伝子診断 清水 浩